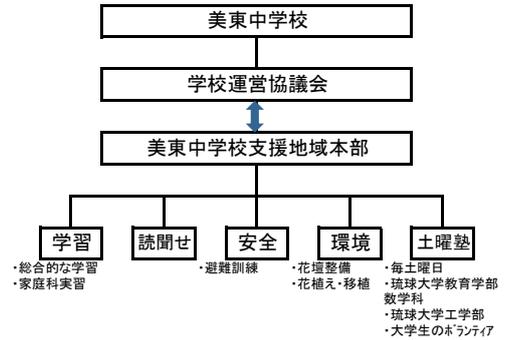


大学生ボランティアを活用し、数学の苦手な学生へ自信を持たせる取り組みです。

沖縄県沖縄市	● 活動名	● 関係する学校名
	美東中学校地域学校協働本部	沖縄市立美東中学校

開始年度	平成 20 年度	学級数	25 学級	児童・生徒数	838 人
活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援活動 <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 0 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	連携団体・企業等	
ボランティアの数	登録人数 116 人	属性	PTA、大学生、地域住民		
参考 URL					

● 体制図



● 連絡先 沖縄市教育委員会生涯学習課 ☎ 098-929-4127

● 活動の概要・経緯
 ・平成 18 年度に地域住民の一人であった大学准教授が、子供の同級生の学習支援を行ったことがきっかけで、4～5名の補習指導が始まった。その後、平成 23 年度より、学校長の要望を受け、大学生のボランティアを活用するようになった。以後、成績の向上を目指し達成感や成就感を感じさせ、その気持ちを「自己実現」や「夢実現」に向けて、取り組ませるようにしている。ただ数学を教えるのではなく、生徒自らが問題に取り組み、考え、数学を克服していく事に重きを置いている。平成 25 年度より学校支援地域本部事業として地域コーディネーターが大学やボランティアとの連絡調整に関わるようになった。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- ・琉球大学教育学部数学科の大学生による、数学に特化した学習をしている。
- ・数学が苦手な生徒に対して、学習に対する意欲や態度の向上に取り組んでいる。
- ・苦手な事やわからない事等に対して、「自ら考える」事に向かいあわせ、「定着」させる事に重きを置いており、「教える」事より、「自ら考えて、答えを引き出す」工夫を行っている。
- ・生徒の頭の中で考えている事を把握して、ボランティアがそれに柔軟に対応して引き出していき事に主眼をおいている。

【実施にあたっての工夫】

- ・保護者の土曜塾に対する理解を図るため、土曜塾の第 1 週目には、土曜塾へ参加する保護者も参加しての説明会を実施した。
- ・土曜塾に通う生徒には、基礎学力テストを実施（小学校卒業程度の算数の問題）することにより、各生徒の課題の明確化と伸びの確認している。
- ・平成 28 年度より、琉球大学工学部の研究室と連携した数学ソフトを活用（ICT）し、PC やタブレットを活用した学習も導入している。

● 事業を実施しての効果・成果

- ・数学への苦手意識の軽減。
- ・数学の成績の向上だけでなく、他の教科への波及効果（やれば出来る）が見られている。
- ・出来る・わかる等の自己肯定感や自己有用感が向上している。
- ・生徒各自の「夢や希望」等に繋がる選択肢が拡大した。
- ・大学生等が大学や教育実習では学べない、数学が苦手とわからない生徒への対応力等が向上した。
- ・教職を目指している学生の指導力や対応力等の向上。

● その他

(活動内容) ・読み聞かせ ・マナー講習会 ・面接指導 ・職業人講話 ・環境整備 ・避難訓練誘導員 ・学習支援「土曜塾」



読み聞かせ



土曜塾

ポイント

10 年以上行われている大学生による数学の学習支援では、理解が進むとともに「やればできる！」という自己有用感にもつながっています。「自ら考えて、答えを引き出す」ための工夫が素晴らしいですね。